



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月30日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 船橋 誠 (TEL) 03-3985-2020
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	221,759	△2.7	24,835	△31.9	30,891	△29.5	19,640	△29.5
26年3月期第3四半期	227,939	3.5	36,468	18.4	43,816	15.5	27,839	27.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 31,754百万円(△25.1%) 26年3月期第3四半期 42,404百万円(58.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第3四半期	242	26	242	15
26年3月期第3四半期	343	32	343	23

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27年3月期第3四半期	754,819		636,416		82.6	
26年3月期	728,442		611,933		82.4	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 623,128百万円 26年3月期 600,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
26年3月期	—	—	50	00	—	—	60	00	110	00
27年3月期	—	—	50	00	—	—				
27年3月期(予想)							60	00	110	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	290,500	△1.8	29,000	△30.4	37,000	△27.8	24,000	△26.6	296	05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期3Q	90,139,653株	26年3月期	90,139,653株
27年3月期3Q	9,073,650株	26年3月期	9,065,226株
27年3月期3Q	81,069,908株	26年3月期3Q	81,089,772株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のO T C医薬品市場は、鼻炎治療剤など一部に堅調なカテゴリーがあったものの、ほとんどのカテゴリーが消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動などで落ち込んだことや、ドリンク剤が夏場の最需要期に天候不順の影響により伸び悩んだことなどにより、総体的には低調に推移しました。

医薬事業につきましても、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策が浸透しつつあり、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、「健康で美しく老いたい」という生活者のニーズに対応すべく、製品開発面では生活者の健康意識の高まりに対応した新しい領域にも積極的に取り組み、生活者のニーズを満たす製品の開発を進めています。また、販売面ではマーケティングと営業活動の連動性を高め、需要を創造する活動を強化するとともに、通信販売等新チャネルの拡充による生活者との直接のコミュニケーションにも注力しています。海外市場におきましては、アジアを中心にO T C医薬品事業とドリンク剤事業を積極的に展開しております。

医薬事業部門でも、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発のスピードアップに努めております。

当第3四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、2,217億5千9百万円余（前年同四半期比△61億7千9百万円余、2.7%減—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	1,349億円	(△ 50億円)	3.6%減
内訳			
国内	1,130億円	(△ 60億円)	5.0%減
海外	197 "	(+ 6 "	3.0%増
その他	22 "	(+ 4 "	20.7%増
医薬事業	868億円	(△ 11億円)	1.3%減
内訳			
医療用医薬品	849億円	(△ 12億円)	1.4%減
中間製品等	16 "	(△ 1 "	6.4%減
工業所有権等使用料収益	3 "	(+ 1 "	89.0%増

主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

<セルフメディケーション事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、1,349億円（△50億円、3.6%減）となりました。

主力ブランドでは、ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、「リポビタンD」が夏場の天候不順の影響などにより前年を下回り（8.7%減）、シリーズ全体では504億円（7.0%減）となりました。「パブロンシリーズ」は、鼻炎治療剤が堅調でしたが、主力の総合かぜ薬が前年比マイナスとなり、シリーズ全体では183億円（3.2%減）となりました。発毛剤「リアップシリーズ」は、第1四半期に消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動があったものの、第2四半期以降は堅調に推移し、シリーズ全体で111億円（0.4%増）となりました。

一方、アジアを中心に展開中の海外O T C医薬品事業は122億円（3.6%増）となりました。

<医薬事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、868億円（△11億円、1.3%減）となりました。

主な増収品目は、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」206億円（2.8%増）、骨粗鬆症治療剤「エディロール」126億円（25.0%増）、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」25億円（343.6%増、平成25年8月発売）でした。平成26年5月発売の2型糖尿病治療薬「ルセフイ」は24億円となりました。一方、マクロライド系抗菌薬「クラリス」は101億円（20.1%減）、末梢循環改善薬「パルクス」は55億円（13.1%減）と、薬価改定並びに後発医薬品の影響等もあり前年比マイナスとなりました。

利益面につきましては、売上高の減収により売上総利益が減益となったことや、広告宣伝費、販売促進費の増加などで販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は248億3千5百万円余（31.9%減）、経常利益は308億9千1百万円余（29.5%減）、四半期純利益は196億4千万円余（29.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ264億円増加し、7,548億円となりました。有価証券が40億円、繰延税金資産が39億円それぞれ減少しましたが、受取手形及び売掛金が200億円、投資有価証券が194億円それぞれ増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ19億円増加し、1,184億円となりました。未払法人税等が93億円減少しましたが、支払手形及び買掛金が37億円、未払金が58億円それぞれ増加しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ245億円増加し、6,364億円となりました。四半期純利益196億円、その他有価証券評価差額金86億円が主な増加要因であり、剰余金の配当89億円が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績等をふまえ、平成26年10月31日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正致します。

ー売上高

連結売上高予想を従来の予想から25億円引き下げ、2,905億円に修正致します。

セルフメディケーション事業で、市場の動向や「リポビタンシリーズ」の売り上げ状況等をふまえ、25億円引き下げます。

ー利益面

利益面につきましては、売上高引き下げにより売上総利益が減益となりますが、販売費及び一般管理費の見直しにより、営業利益290億円、経常利益370億円、当期純利益240億円と、従来予想を据え置きます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法について期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、計算に用いる割引率を、従業員の平均残存勤務期間に近似した単一年数の債券利回りに基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付に係る資産が3,736百万円、退職給付に係る負債が1,116百万円、利益剰余金が1,733百万円、それぞれ増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	145,320	146,614
受取手形及び売掛金	78,507	98,490
有価証券	14,084	10,053
商品及び製品	17,577	17,628
仕掛品	1,872	1,647
原材料及び貯蔵品	7,671	8,226
繰延税金資産	8,027	6,147
その他	8,424	7,503
貸倒引当金	△439	△471
流動資産合計	281,045	295,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,359	49,502
機械装置及び運搬具(純額)	9,611	8,802
土地	37,740	37,499
建設仮勘定	783	430
その他(純額)	4,085	4,099
有形固定資産合計	103,580	100,333
無形固定資産		
のれん	22,990	22,229
販売権	7,185	6,246
商標権	16,115	15,215
ソフトウェア	1,854	1,598
その他	631	587
無形固定資産合計	48,777	45,877
投資その他の資産		
投資有価証券	226,982	246,339
関係会社株式	51,778	52,505
関係会社出資金	1,174	76
長期前払費用	858	726
退職給付に係る資産	2,586	6,711
繰延税金資産	7,667	5,694
その他	4,216	919
貸倒引当金	△226	△205
投資その他の資産合計	295,037	312,769
固定資産合計	447,396	458,979
資産合計	728,442	754,819

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,859	31,534
未払金	14,783	20,561
未払法人税等	11,517	2,243
未払費用	10,411	10,382
返品調整引当金	518	683
賞与引当金	4,630	2,901
その他	6,330	3,485
流動負債合計	76,050	71,792
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,640	1,424
退職給付に係る負債	19,584	20,318
繰延税金負債	14,389	17,950
その他	4,844	6,917
固定負債合計	40,458	46,610
負債合計	116,509	118,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,269	15,269
利益剰余金	591,575	604,051
自己株式	△57,548	△57,612
株主資本合計	579,296	591,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,639	31,250
為替換算調整勘定	896	2,428
退職給付に係る調整累計額	△2,750	△2,259
その他の包括利益累計額合計	20,785	31,419
新株予約権	180	298
少数株主持分	11,670	12,989
純資産合計	611,933	636,416
負債純資産合計	728,442	754,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	227,939	221,759
売上原価	84,864	84,538
売上総利益	143,074	137,220
返品調整引当金戻入額	517	515
返品調整引当金繰入額	645	680
差引売上総利益	142,946	137,055
販売費及び一般管理費	106,478	112,219
営業利益	36,468	24,835
営業外収益		
受取利息	3,942	3,974
受取配当金	1,149	1,262
持分法による投資利益	1,758	322
その他	600	630
営業外収益合計	7,450	6,189
営業外費用		
支払利息	2	1
支払手数料	77	67
その他	22	64
営業外費用合計	102	133
経常利益	43,816	30,891
特別利益		
固定資産売却益	49	1,025
投資有価証券売却益	56	—
特別利益合計	106	1,025
特別損失		
固定資産処分損	32	375
関係会社清算損	—	39
特別損失合計	32	415
税金等調整前四半期純利益	43,890	31,501
法人税等	14,679	10,472
少数株主損益調整前四半期純利益	29,211	21,029
少数株主利益	1,371	1,388
四半期純利益	27,839	19,640

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,211	21,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,119	8,284
為替換算調整勘定	3,664	1,568
退職給付に係る調整額	—	514
持分法適用会社に対する持分相当額	408	358
その他の包括利益合計	13,192	10,725
四半期包括利益	42,404	31,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,019	30,274
少数株主に係る四半期包括利益	1,384	1,479

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	139,963	87,976	227,939	—	227,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	139,963	87,976	227,939	—	227,939
セグメント利益(注2)	30,864	6,473	37,338	△870	36,468

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	134,915	86,843	221,759	—	221,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	134,915	86,843	221,759	—	221,759
セグメント利益(注2)	23,012	2,706	25,719	△883	24,835

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。